

# 芦安小中学校 学校関係者評価書（後期）

令和4年1月25日（火）

学校関係者評価委員会作成

## 第2回芦安地区学校関係者評価委員会

実施日：令和4年1月25日（火）

方法：紙上提案 → 意見聴取 → まとめ

参加者：学校関係者評価委員

- 委員長 疋田 真祐（芦安小中学校PTA会長，学校評議員）
- 副委員長 洲貝 麻里（芦安小中学校PTA副会長，学校評議員）
- 委員 清水 准一（芦安ファンクラブ会長，学校評議員）
- 委員 清水 実（芦安子を守る会会長，学校評議員）
- 委員 有野 敏也（南アルプス市交通安全協会監事，学校評議員）
- 委員 伊東 隆雅（芦安地区保護司，学校評議員）
- 委員 倉園 光代（主任児童委員，学校評議員）
- 委員 塚原 利幸（芦安窓口サービスセンター長，学校評議員）
- 委員 森本 章雄（芦安地区学校応援団代表，学校評議員）
- 学校職員 <小学校> 校長・石田史明，教頭・石川和樹
- <中学校> 校長・小林雅人，教頭・今村洋仁

### 1. 学校側からの提案した内容

- ① 学校経営方針，グランドデザインについて
- ② 学校評価の方法について
- ③ 評価の全体的な傾向について
- ④ 教職員自己評価（後期）の結果について
- ⑤ 保護者アンケート（後期）の結果について
- ⑥ 児童生徒アンケート（後期）の結果について
- ⑦ 今後の学校経営・運営について

### 2. 検討していただいた主な内容

- ① 教職員自己評価（後期）の結果について
- ② 保護者アンケート（後期）の結果について
- ③ 児童生徒アンケート（後期）の結果について
- ④ 各項目の評価・達成状況・改善策について
- ⑤ 児童生徒の様子・小中一貫校の取組について
- ⑥ 今後の芦安地区の教育のあり方について

### 3. 学校への意見・要望・感想等〈小中〉

#### (1) 学校経営・学校運営

- ・「児童生徒を第一に考えた教育」や「地域全体で子どもたちを支えていく仕組み」という文言、とても良いと感じます。コロナ禍で先生方のご苦労も多いと思いますが、子どもたちもマスクやアルコール消毒、ソーシャルディスタンスなど、心理的負担も多いと思います。そんな中でも、心と心が通い、安心して笑顔で過ごせる場がありますよう、お願いします。
- ・新型コロナウイルスのオミクロン株の感染が急速に広がる中で、小中学校の先生方には学校内の感染防止等大変ご苦労がありますが、どうかよろしく願いいたします。
- ・自己評価の通り、引き続きお願いします。
- ・児童生徒一人一人に対して、先生方の丁寧なご指導をいただいているのが伝わり、とてもありがたく感じます。

#### (2) 学習指導

- ・「指導の個別化」という点では、一人一人きめ細やかに対応してくださり、保護者としても大変ありがたく感じています。ICTは確かにとても役に立つものではありますが、あまり機械に頼り過ぎず、実際に見て聞いて体験することによって物事を知ることを重視した学習を望みます。芦安は素晴らしい環境があるので、それを生かした学習ができるように願っています。
- ・自己評価の通り、引き続きお願いします。
- ・児童生徒の一人一人の特性をよく理解し、きめ細やかな対応をして下さり、ありがとうございます。芦安ならではの様々な体験は、子どもたちが大人になった時に役に立つと思います。

#### (3) 生徒指導

- ・「やさしさのあふれる学校づくり」は、とても素晴らしいと感じます。一人一人のもともと持っている素晴らしい個性を大切に、互いに生かし合えるように思いやりを持って過ごせたらと思っています。
- ・自己評価の通り、引き続きお願いします。
- ・毎日の子どもたちとのコミュニケーションを大切にし、これからも子どもたちとの信頼関係を築いていってください。
- ・これからも子どもたちとのコミュニケーションを大切にしていってください。

#### (4) 保護者・地域との連携

- ・コロナ禍で大変な中、できることを考えて下さり、本当に感謝しています。
- ・小中学校が保護者・地域・関係団体と情報共有をしっかりと行い、地域とともにある学校として「芦安郷育」を実践していってください。
- ・コロナ禍で地域と学校とがコミュニケーションをとる機会が少なく、残念です。早く集えるようになって欲しいです。

#### (5) 学校の特徴ある取組

- ・芦安小中ならではの活動，特に登山は達成感を味わい，自然を大切に自然と共に生きることの体験を通して知ることができる素晴らしい行事だと感じています。
- ・小中一貫校の取組や自然体験等が子どもたちにもたらす効果を生かして，今後も特色ある学校づくりを推進して行ってください。
- ・コロナ禍で活動が難しい中，様々な活動ができたことは，とてもよかったと感じています。自己評価の通り，引き続きお願いします。

#### (6) その他

- ・学校運営・学校経営について先生方の創意工夫した取組をしている様子が伺えました。年々，児童生徒が減少し，学校の存続を危惧するところです。私共も空き家が増加の一途をたどる状況であり，今後，空き家対策や移住・定住について力をいれていかなければなりません。今後ともよろしくお願いします。
- ・ありがとうございました。来年度は，もう少し色んな活動ができるようになることを願っています。
- ・今年度もコロナ禍により，様々な行事等を実施することが困難で支障をきたしていると思いますが，そのような中でも学校生活が児童生徒の大切な思い出となるような取組をよろしく願いいたします。
- ・新型コロナウイルス感染拡大下でストレスにさらされている子どもたちを支えようと日々努力している先生方に感謝します。少しでも子どもたちが楽しい学校生活を送れる様，これからもよろしくお願いします。

### 4. 分析・評価

- ・学校関係者評価委員の方々から自己評価に関して得られた指導・助言・感想等を真摯に受け止め，1つ1つの項目について児童生徒の実態を踏まえて具体的な手立てを講じていきたい。そして，学校関係者評価を受けて学校運営・学校経営の工夫・改善を行うとともに，学校教育目標の実現に向けて「芦安郷育」及び「小中一貫教育」をさらに推し進めていきたい。
- ・芦安小中学校の特色である自然体験活動として1学期は，学校林整備（植樹）・自然パトロール（中学生）・自然学習・全校登山（中学生）・夜叉神登山（小学校3・4年）・櫛形山登山（小学校5・6年生）・2学期は学校林整備（枝打ち）・輪かんじき作り（中学生）・アマゴの飼育と放流，3学期は巣箱作り等の活動を計画的に仕組むことができおり，今後も活動が充実するように引き続き関係団体と連携しながらさらに工夫・改善を図っていきたい。
- ・小中合同校内研究会のテーマである「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて，GIGAスクール構想による1人1台タブレットの導入がなされたことで，校内研究のサブテーマにICTの活用が加わり，個別最適な学びと協働的な学びの研究に向けて取り組んでいる。今後もICTの効果的な活用に向けた研究が「主体的・対話的で深い学び」につながっていくように，より一

層研究を深めていきたい。

- 今年度は8月下旬の新型コロナウイルス蔓延防止等重点措置と1月下旬の新型コロナウイルスのオミクロン株の感染者の急激な増加のため、小中合同活動やPTA活動に中止もしくは変更が出てしまった。感染症対策を講じ創意工夫をしながらできるだけ学校行事や授業参観、PTA活動を実施し、教育活動を止めることなく、今後も活動の幅を広げていきたい。
- 家庭学習については、授業と家庭学習との有機的な結びつきを意識した授業づくりに取り組み、宿題から自主学習へと発展できるように、自主学習ノート等も活用しながら「主体的な学び」を目指し指導していきたい。また、不登校傾向や教室で授業が受けられない子どもたちにICTを活用した授業参加を促しており、継続して取り組んでいきたい。
- 子どもたちの人間関係づくりに不安を抱いている児童・生徒・保護者が一部いることを踏まえ、児童生徒一人一人との対話を大切にし、コミュニケーションを積極的に行うことで児童生徒理解に努めていきたい。また、不登校傾向による別室指導が必要な生徒や教室で落ち着いて授業が受けられない児童生徒に対して、職員全員で常に情報共有しながら丁寧に対応すると同時に、今後も継続してスクールカウンセラー等の専門家に指導・助言をあおぎ、日々の微妙な変化の見取りを大切にしながら、よりきめ細かい対応をしていきたい。
- 地域や保護者との日常の対話を大切にしながら、家庭訪問・面談・電話連絡・アンケート等で、学校への意見や要望等の吸い上げを積極的に行って学校運営に生かすと同時に、学校ホームページや学校だより・学年だより等で定期的に学校の教育活動の情報発信を行い、その都度必要な情報をメールや電話（地域には回覧板）等を使って連絡を取り合いながら、今後も継続した連携に向けて情報共有を図っていきたい。